

知っていますか？ 尾道市 御調 町



① 課題の発見：「尾道」ってどんなイメージ？

山側



海側

尾道は近頃、人気観光地として活気ある印象を受ける。しかしよくメディアで取り上げられ注目されやすい場所は沿岸部に集中しており、「海や坂道、猫、レモン」といったイメージが固定化されつつあることに気づいた。

そこで実際に市民の方からもよく知らないという声の上があった、中山間地域にある御調町への冒険に出かけることに。

② 取材：優しさに溢れる、御調町での出会い

- ・豊かな自然のもと、のんびりした暮らし
- ・畑でとれた野菜などの「おすそわけ」文化
- ・地域包括ケアシステム発祥の地であり、「福祉のまち」を宣言
- ・移住者がまちづくりの中心で活躍

取材で出会った御調町で活躍する人たちのうち 8 割が移住者。外側からの視点で御調町の魅力を発見し、ここで暮らすことを選んだ人たちが、空き家バンクや子育て支援など様々な活動で町を盛り上げている。

・歴史や文化の継承

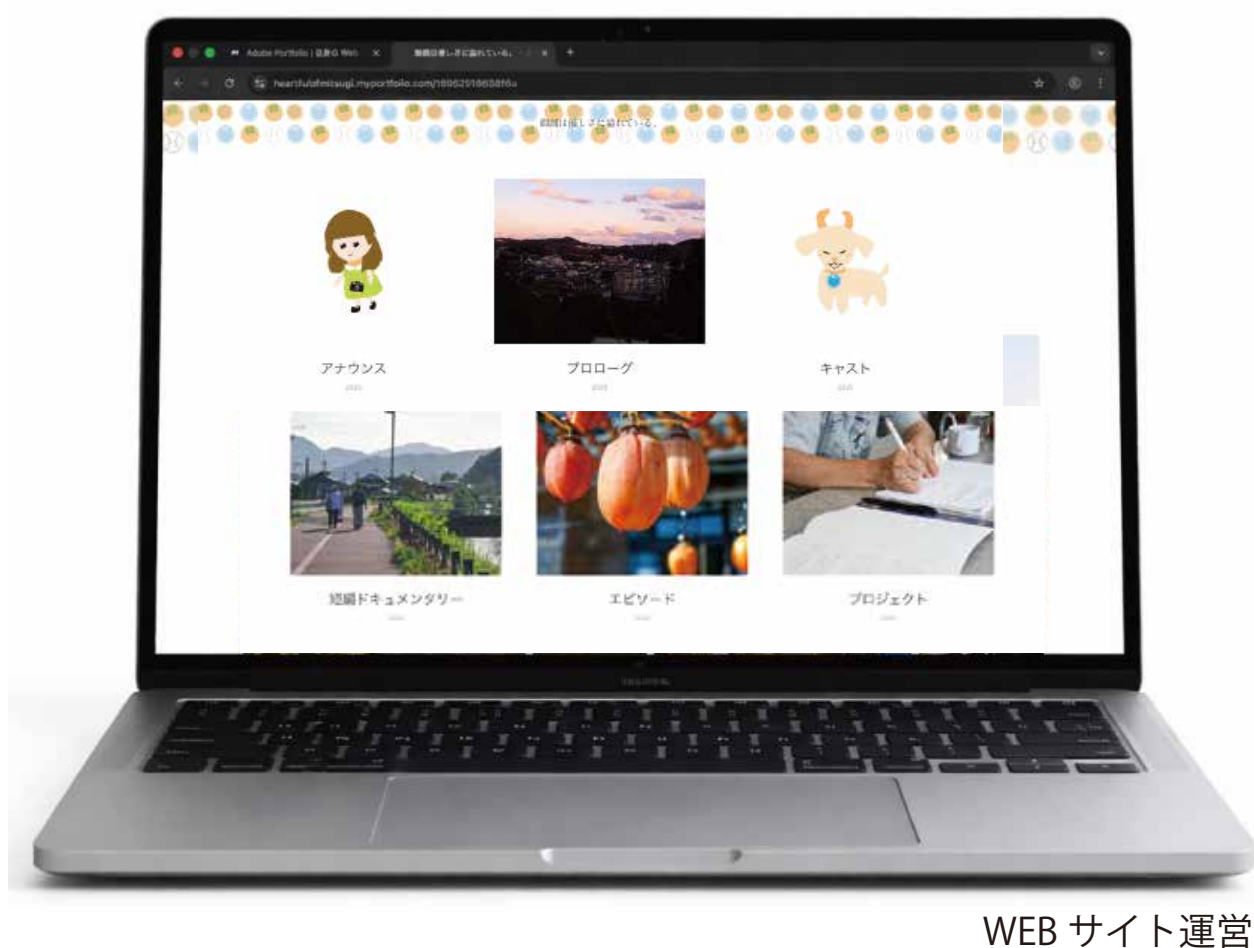
老舗和菓子屋の近藤製菓店や伝統を守るため設立された尾道柿園では、移住者が事業継承予定。他にも綾目（御調）神楽の継承でも移住者が活躍するなど、地元住民と移住者が手を取り合って一緒に活動している。など ...



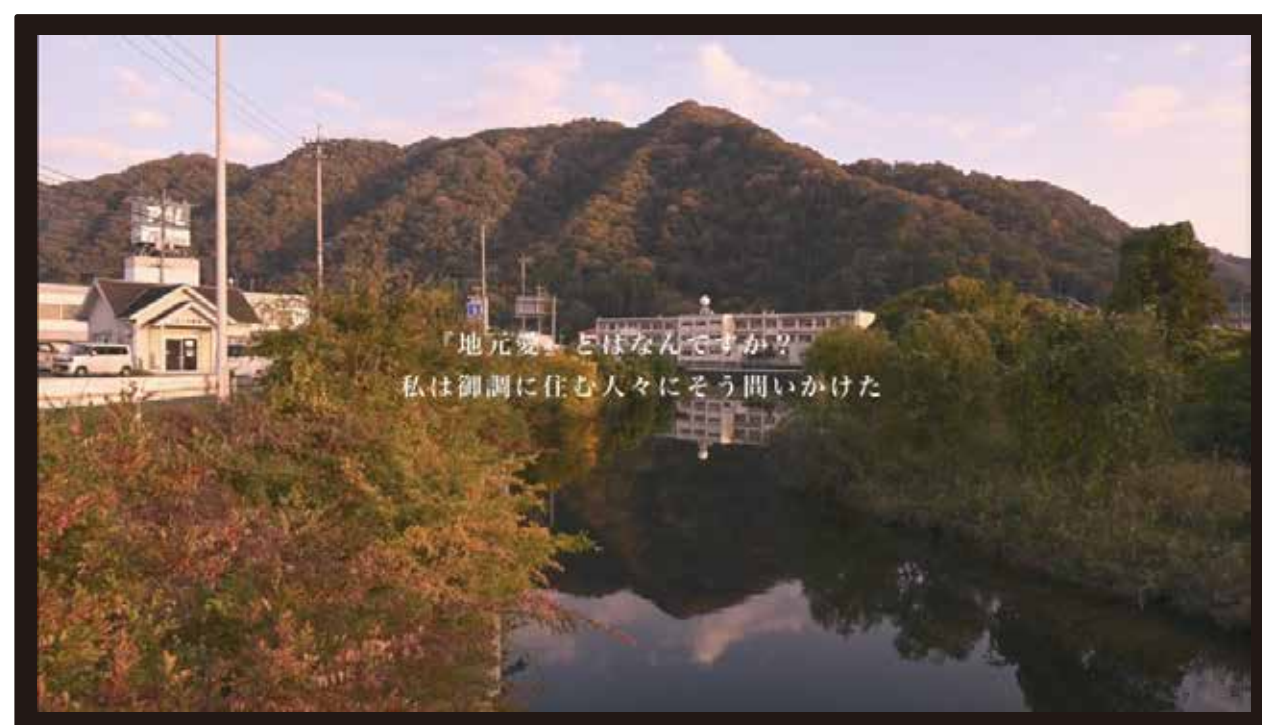
③ 目的と企画：観光促進ではなく、地域住民にこそ届けたい

「御調町がもっと注目されるには何を生み出せばいいだろう？」と考えていたが、昔からあるものを大切にし続ける人々の温かな暮らしを目にし、今やるべきことは新名物の発案や既存の名物のリデザインではなく、昔から町で愛され受け継がれてきたものについて知ることや考えていく「きっかけ」を作ることだと考えた。

④ 制作と活動：「伝える」だけで終わらないためのプロジェクト 『御調は優しさに溢れている。』



WEB サイト運営



短編ドキュメンタリー制作



知る

交流する

体験する

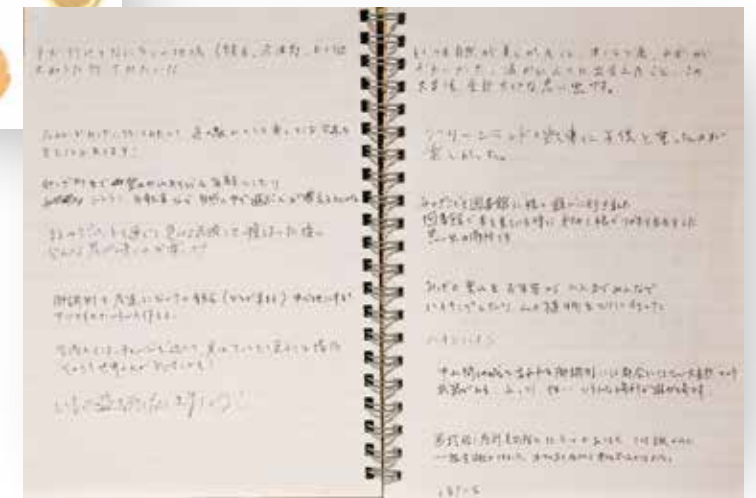
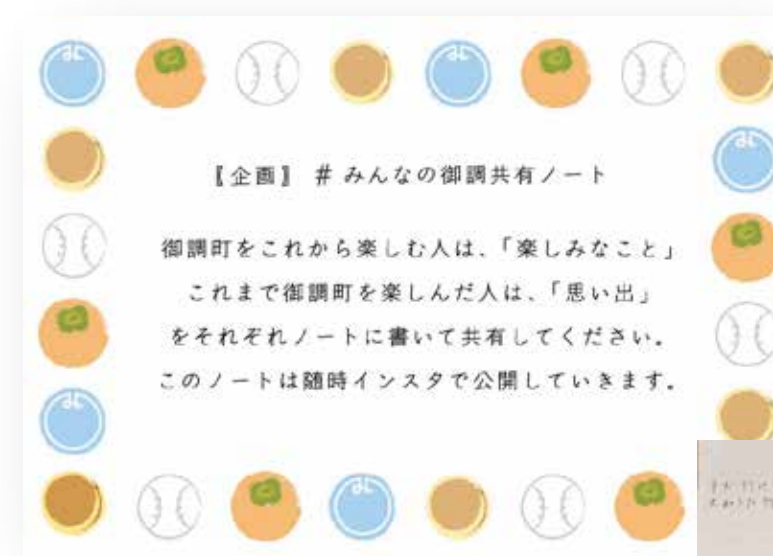
一緒に考える



SNS 発信



写真展示



イベント「みんなの御調共有ノート」

展示
発表活動

2026.1/30 ~ 2/1 @MOU 尾道市立大学美術館

「デザイン × 私のまち」第 23 回地域プレゼンテーション
展覧会

2026.2/11 @ しまなみ交流館

「デザイン × 私のまち」第 23 回地域プレゼンテーション
発表会

2026.2/27 @ しまなみ交流館

第 9 回尾道映画祭
(若手育成プログラムにて短編ドキュメンタリー上映)

⑤ 現在と今後の活動

御調町での取材を続け新たな出会いや魅力を発信する中で、支援システムや文化の継承、自然など町民の暮らしの中に「循環」しているものの存在があることを発見する。制作や活動のテーマに循環をとり入れることでの展開を考えている。

また、当活動を通して出会った道の駅クロスロードみつぎにて開発中の芋焼酎「御調黄金」のラベルデザイン制作に取り組んでいる。芋の生産者である尾道ファームを見学し、中山間地域の農業の課題への理解を深めるなどした。農業の未来を考える会社から生まれる新商品として、その役割を果たして力になることができるデザインの提供を目指している。

